

令和8年度 看護研究発表会
開催要綱

公益社団法人 福島県看護協会
県北支部 教育委員会

1. 目的

日常の看護実践から出された疑問を研究課題に発展させ発表することにより情報を共有し県北支部の看護の質の向上を図る。

2. 主催

公益社団法人福島県看護協会 県北支部

3. 日時

令和9年2月6日（土） 10時～12時

4. 開催方法

対面開催（集合）

5. 会場

福島看護専門学校 6階講堂 （福島市栄町1番37号）

6. 参加対象者

福島県看護協会県北支部会員・非会員、看護学生

7. 内容

一般演題発表、質疑応答

8. 参加申し込み方法

後日、各施設へ送付されるプログラムと参加申し込み案内文書に記載されている URL または QR コードによる個人申し込みとする。参加費は指定口座に事前振込とする。

1) 支部会員参加費 : 無料

2) 支部非会員参加費 : 1000 円、看護学生 500 円

【振込み先】

東邦銀行 西福島支店 店番号 123

公益社団法人 福島県看護協会 県北支部長 齋藤千栄子

普通預金 口座番号 430305

9. 演題応募方法

1) 応募資格

演題発表者（筆頭研究者）及び看護職の共同研究者は、福島県看護協会会員に限る。

※非会員の方は、所定の入会手続きを行う。

2) 受付

（1）未発表の演題であること。

※施設内で発表した演題は応募可とする。

（2）倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。

（3）集録原稿作成要項に沿って作成され、不備がないこと。

3) 提出方法

- (1) 演題申込：申込締切日：令和8年10月9日（金）16時まで必着
 - ・演題申込は、①演題名②発表者③所属施設名④電話番号⑤メールアドレスを記載し、指定の宛先へメール送信する。
- (2) 集録原稿提出：提出締切日：令和8年11月6日（金）16時まで必着
 - ・集録原稿作成要領に沿って、様式1・様式2を作成し、添付ファイルで指定の宛先へメール送信する。
- (3) 集録原稿再提出：再提出締切日：令和8年12月4日（金）16時まで必着
 - ・集録原稿提出後に、修正依頼があった場合、修正後再提出する。
- (4) 発表用スライドの提出：提出締切日：令和9年1月29日（金）16時まで必着
 - ・発表用スライドを作成し添付ファイルで指定の宛先へメール送信する。
- (5) 演題宛先（演題申込・集録原稿・発表用スライド）

公立藤田総合病院 看護部 五十嵐奈美子 行 E-mail : san-higashi@fujita-hp.jp
--

10. 発表形式

- 1) 口演発表とし1演題8分とする。
- 2) 質疑応答は、各群の発表終了後行う。
 - ※会場に発表用パソコン・プロジェクターを準備します。
 - 発表用パソコンには提出した発表用スライドを準備します。
 - 発表者は、発表当日にデータを持参して下さい。

11. その他

- 1) 研究会参加申し込みは、施設・団体での申し込みは不可とする。
- 2) 演題申し込みおよび研究会参加申し込みは、締切日厳守とする。
- 3) 発表者および発表付き添い者も参加申し込みをする。
- 4) 集録集は、開催当日会場で配布する。

集録原稿作成要領

1. 様式は、集録原稿形式【様式1】と集録原稿提出チェックリスト【様式2】の2種類がある。
2. 集録原稿は、A4判横書きで3枚以内にまとめる。（引用文献、図表等を含む）
3. 表題の文字サイズは14ptとする。キーワード、発表者名、共同研究者名、所属施設名の文字サイズは9ptとし、略さず正式名称を記載する。表題は中央寄せとし、その他は右寄せとする。キーワードは3つ以上5つ以内とする。発表者名の頭に○印をつける。
4. 本文の文字サイズは10.5pt、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。本文は「である」調に統一する。
5. 本文中の大項目から小項目の番号は、I. 1. 1) (1) ①の順に記載する。
6. 「表題（タイトル）」は、論文の内容が題名からイメージできるものとし、必要に応じてサブタイトルをつける。
7. 「キーワード」は、検索の標識となる役割をもつため、学術データベースや検索エンジンで論文を見つけやすいワードとする。
8. 集録原稿は、「はじめに」「目的」「方法」「倫理的配慮」「結果」「考察」「結論」「引用文献」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号を付ける。
9. 「はじめに」は、研究背景、先行研究と問題点、研究目的、研究の意義、論文の構成で構成する。
10. 「研究方法」は、研究の調査目的、研究対象、研究調査期間、研究の分析・解析方法を明記する。また、《用語の定義》《資料の検討》について記述されることもある。
11. 「倫理的配慮」は、倫理的配慮とその記述方法を参照し明記する。
12. 「結果」は、その研究方法で得られた結果、データ、成績を整理し明記する。図、表、資料、写真は明瞭かつ簡潔で、必要と判断されたものだけを添付する。
13. 「考察」は、研究の分析結果に基づいて解釈・意味づけ・評価・検討を行う。研究結果から新たな知見があるか、学問学的意義があるか、普遍化できるものであるか、特殊性のあるものなのか等を論理的にまとめる。《本研究の限界と課題》について言及してもよい。
14. 「結論」は、結果から導かれた結論を明記する。明らかになったことを簡潔に整理する。
15. 図表は、それぞれ通し番号とタイトルをつける。表の番号とタイトルは表の上、図の番号とタイトルは図の下に入れ、中央揃えとする。○人、○%など単位をつける。また、白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。
16. 「引用文献」は、引用順に本文の引用箇所の肩に^{1) 2)}と番号を付け、本文の最後に一括して引用番号順に次のように記載する。なお、「引用文献」「参考文献」は、区別して記載する。

<雑誌掲載論文>

著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、発行年（西暦年次）

例) 県北花子：看護研究の〇〇〇について、〇〇看護, 25(11), p. 35-38, 2008.

例) 県北花子, 福太郎, 島一子, 他：看護の〇〇〇研究, 第〇回日本看護学会論文集（看護管理）, p. 5-8, 2008.

<単行本>

著者名：書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）

例) 県北花子：看護実践研究の手引き(3), 〇〇看護出版, p. 145, 2006.

著者名：表題名、編者名、書名（版）、発行所、頁、発行年(西暦年次)

例) 県北花子：研究における〇〇, 福太郎編, 看護実践研究(2), 〇〇出版, p. 76-88, 2007.

<翻訳書>

原著者名：書名（版）、発行所、訳者名、書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）

例) Alice Williams: Nursing Research(4), 2001, 県北花子訳, 看護研究(4), 〇〇看護出版, p. 288-290,

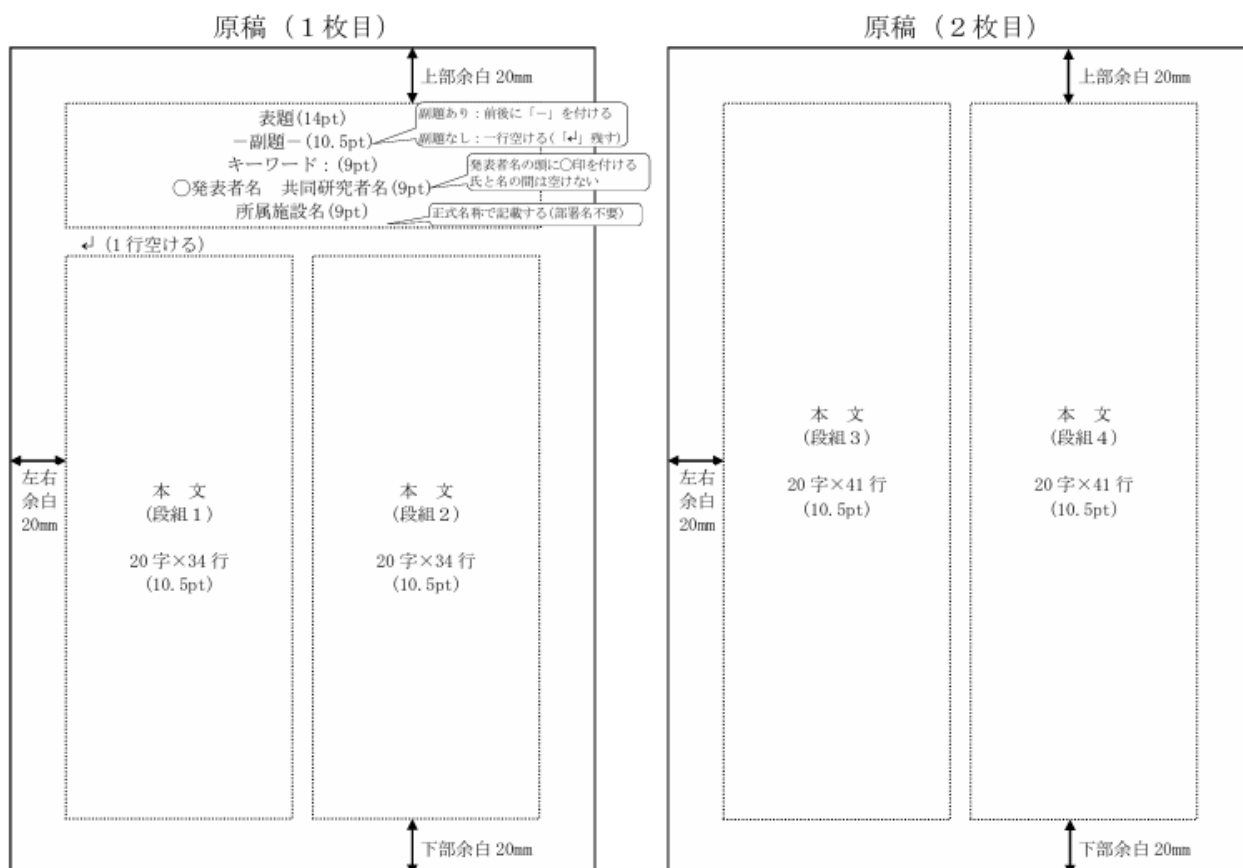
< 電子文献 >

著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、頁、発行年（西暦年次）、アクセス年月日、URL、
発行機関名（調査／発行年次）、表題、アクセス年月日、URL

例) 文部科学省, 厚生労働省(2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, 2015 年 4 月 10 日閲覧,
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-seisakujouhou-10600000-daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>

※公的機関から提供される情報（総計・法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

17. 集録原稿形式 【様式 1】（福島県看護協会 集録原稿作成要領引用）



研究における倫理的配慮とその記述方法（福島県看護協会より抜粋）

1. 先行文献を調べて活用する。

既に研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは論理的に問題があるため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし、発表の意義を明確にする。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないように配慮する。

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じである。そのため、「A 病院」のように匿名化した表記とする。研究対象者へのプライバシーの配慮として、集録の記述内容で研究対象者が特定できないようにする。

3. 研究対象者の個人情報を守る。

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要であるが、不必要な個人情報は公表しないように配慮する。例えば、入院および退院の情報が必要なときは、年月日でなく入院期間を記載する。

4. 研究者対象者への説明と自由意志による同意を得たことを記載する。

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要がある。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要がある。学生を対象とした研究の場合も患者を対象としたときと同様の配慮が求められる。例えば、入院患者に無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいため、退院時にこの調査を依頼するなど工夫が必要になる。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行ったりすることは、自由意志を損なうことになりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったのかを具体的に明記する必要がある。

5. 倫理委員会での承認を受けたことを記載する。

所属施設の倫理委員会の承認を受けていることを明記する。倫理委員会がない場合にはそれに相当する決定機関（幹部会議、看護部、委員会）など、複数の第三者による組織的了解を得ていることを明記する。倫理委委員会の名称は実名を記載するが、実名を記載することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、「所属施設の倫理委員会」等の表記とする。

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載する。

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載する。

7. 著作権等の侵害がないように配慮する。

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記する。図・表は転記許諾を得た上で出典（文献）を明記する。現存の尺度を使用する場合は、作成者から許諾を得たことを記載し、出典を明記する。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載する。

集録原稿提出チェックリスト

レ点でチェックし、指定の宛先へ集録原稿と合わせて添付ファイルにて送信してください

所属施設：_____
 発表者名：_____

確 認 す べ き 項 目	チェック欄
【集録について】	
1. 集録の内容は、他の学会や雑誌に発表あるいは投稿されていないものですか	
2. 目的・方法・倫理的配慮・結果・考察・引用文献は、“集録原稿形式” および “研究における倫理的配慮とその記述方法” にそってまとめていますか	
3. 本文、図・表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものになっていますか	
【倫理的配慮とその記述について】	
1. 研究対象者の研究承諾および研究結果の公表の承諾について明記していますか	
2. 研究対象者に利益や不利益が生じる場合についての説明があり、不利益が生じる場合には、その対処がなされていますか	
3. 発表に際して所属施設（倫理委員会もしくは看護部等）の承認について明記していますか	
4. 研究対象者が特定できないよう配慮していますか	
5. 固有名詞（当院・当病棟を含む）を使用せず、匿名にしていますか	
6. 薬については商品名でなく製剤名を記述していますか	
7. 文献から図・表や本文を引用する場合、著作権に配慮し出典（文献）を明記していますか	
8. 既存の尺度を使用または改変する場合、著作者から許可を得ているか出典（文献）を明記していますか	
【原稿申し込みについて】	
1. 演題名・発表者名・共同研究者・所属施設名は、演題申し込みと同じ記載になっていますか	